

製品安全データシート

製造者情報

会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M150424

作成日 2015/04/03

製品名 モノタロウ 防錆潤滑剤

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性、引火性エアゾール 区分 1
引火性液体 区分 3

健康に対する有害性

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） 区分 4
皮膚腐食性、刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷、刺激 区分 2
生殖細胞変異原性 区分 2
発がん性 区分 2
生殖毒性 区分 1A
特定標的臓器、全身毒性（単回暴露） 区分 2（肺）
区分 3（麻醉性、気道刺激性）
特定標的臓器、全身毒性（反復暴露） 区分 1（肺、皮膚）
吸引性呼吸器有害性 区分 1

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである。

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気
飲み込むと有害のおそれ
皮膚、眼への刺激
呼吸器系への刺激
吸入すると有害
眠気、めまいのおそれ
発がんのおそれの疑い
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれあり
遺伝性疾患のおそれの疑い
臓器(肺)の障害のおそれ
長期又は反復ばく露による臓器(肺)・皮膚の障害
生殖能または胎児への悪影響の恐れあり

注意書き

応急措置	p.2 に記載
取り扱い	p.2 に記載
保管	p.2 に記載
廃棄	p.4 に記載

組成、成分情報	成分及び含有量 化学式または構造式 CAS No. 官報公示整理番号 国連番号 消防法 労働安全衛生法 P R T R法	石油系溶剤、鉱油、添加剤、噴射剤(DME) 企業秘密のため非公表 企業秘密のため非公表 企業秘密のため非公表 1950 第4類第2石油類、危険等級Ⅲ 通知対象物：鉱油(10～20%) 非該当
応急措置	吸入した場合 飲み込んだ場合 眼に入った場合 皮膚にかかった場合	：新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。 ：口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。 ：水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。十分洗浄後、医師の手当を受ける。 ：水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合、洗濯する。 腫れが生じたり皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。
火災時の措置	消火方法 消火剤	：速やかに容器を安全な場所に移す。 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から消火する。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。 霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。 棒状の水を使用しない。
漏出時の措置		保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。
取扱いおよび保管上の注意	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 取り扱い 保管	炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液の接触に注意する。 屋外、または通気性が良い場所で使用する。 必要に応じて保護具を着用する。 使用後は手洗い、うがいを十分する。 屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化生物質との接触、同一場所での保管を避ける。

暴露防止措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
鉍油	設定されていない	3mg/m ³	5mg/m ³

設備対策	屋内で使用する場合、通気性を良くする。 手洗い、うがいができる洗浄設備を設置する。
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。
保護眼鏡	必要であれば着用する。
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

物理／化学的性質

	原液	DME (噴射剤)
外観等	茶褐色透明液体	無色透明の液体
臭気	溶剤臭	やや甘味臭
比重	0.83～0.84	(液) 0.661(20℃)
沸点	140℃以上	-24.8℃
融点	データなし	-141.5℃
溶解度	水に不溶	水に不溶

危険性情報

	原液	DME (噴射剤)
引火点	40℃以上	-41.1℃
発火点	データなし	350℃
爆発限界	データなし	3.4～27%
可燃性	データなし	あり
酸化性	データなし	なし
自己反応性	データなし	なし
安定性	データなし	安定
反応性	データなし	なし

有害性情報

急性毒性	鉍油：経口 LD ₅₀ 5000mg/kg 以上(ラット) 経皮 LD ₅₀ 5000mg/kg 以上(ウサギ)
皮膚・眼刺激性	原液：眼、鼻、喉、呼吸器官、粘膜、皮膚等に対して刺激性がある。 繰り返しの接触により脱脂症状、炎症、痛み等が生じる恐れがある。
変異原性	鉍油：有用なデータなし
慢性毒性	鉍油：有用なデータなし
発がん性	鉍油：IARC ではグループ 3 に分類(ヒトに対して発がん性については分類できない)
感作性	鉍油：有用なデータなし
催奇形性	鉍油：有用なデータなし
生殖毒性	鉍油：有用なデータなし
特定標的臓器、全身毒性 (単回暴露)	鉍油：有用なデータなし
特定標的臓器、全身毒性 (反復暴露)	鉍油：有用なデータなし
吸引性呼吸器有害性	鉍油：有用なデータなし

環境影響情報	動植物、鳥類、昆虫、水棲生物、微生物等に悪影響を与える可能性がある。 自然環境にとって有害であり悪影響を及ぼす可能性がある。 よって自然環境中(土壌、河川、湖沼、海等)に排出しない。
廃棄上の注意	廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。
輸送上の注意	輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか 容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。 さらに関連法令に従った措置も講じる。
適用法令	消防法・・・・・・・・・・・・・・・・・・第4類第2石油類 危険等級Ⅲ 水質汚濁防止法・・・・・・・・・・油分排出規制 (ノルマルヘキサン抽出分として) 海洋汚染防止法・・・・・・・・・・油分排出規制 (原則禁止) 廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止) 労働安全衛生法・・・・・・・・・・鉱油(10~20%)
参考文献	1. ITRC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33 2. 許容濃度の勧告(1992) 日本産業衛生学会 産業医学 35巻 p.323-367 3. 製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会) 4. GHS 対応による混合物(化学物質)の作成手法の研修テキスト(改訂版) (中央労働災害防止協会) 5. 各原料のMSDS
注意事項	この製品安全データシート(MSDS)は通常取り扱いを想定して作成したものです。 MSDSは安全の保証を約束するものではありません。 取扱者は状況に応じて使用してください。 MSDSの内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。